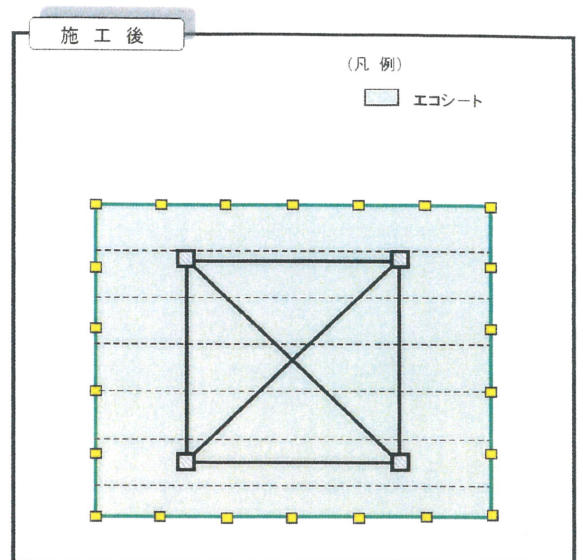
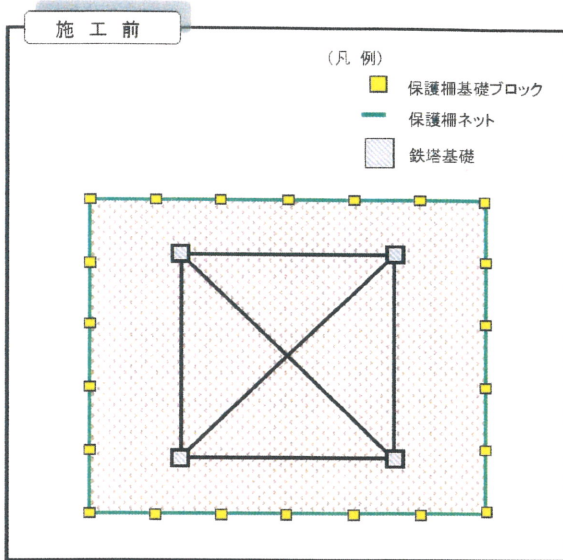


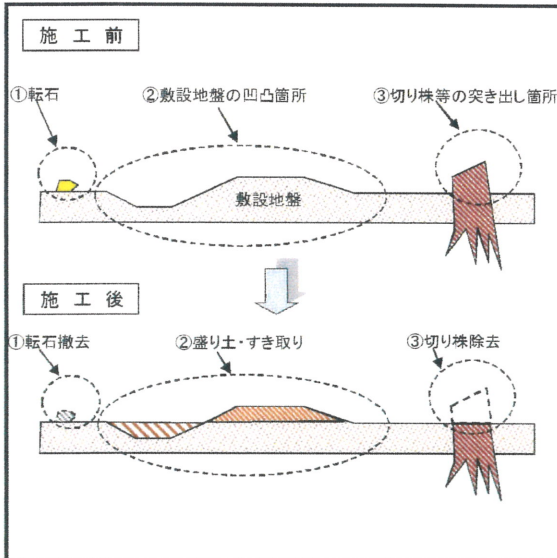
# エコシート敷設施工手順説明書

株式会社 クキ. イーアンドティー

# エコシート施工手順説明書



## 施工手順 1 エコシート敷設地盤の整地方法について



### (施工補足説明)

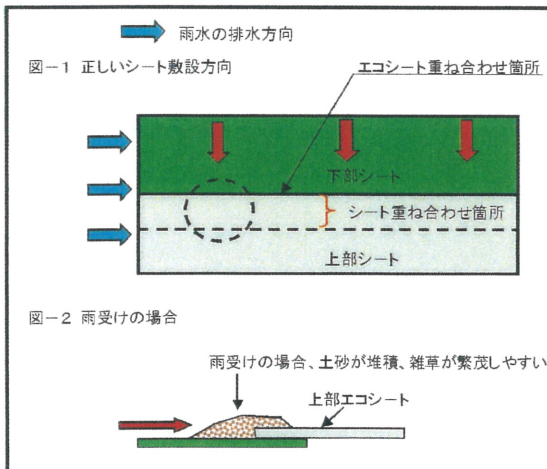
①エコシート敷設範囲に点在している大きな転石等に付いては、シート敷設前に、必ず、撤去して下さい。

②エコシート敷設地盤において、地盤の凹凸が激しい箇所に付きましては、敷地内、歩行の際、足元のつまずき等により、災害が発生する可能性が予想されますので、なるべく、エコシート敷設地盤に付きましては、埋め立て整地等を行って下さい。

③エコシート敷設範囲の雑草及び切り株等に付きましては地際部分から、除草及び根切を確実に行って下さい。

※エコシート敷設地盤に転石・切株等が残っている場合、シート敷設後、歩行・車両乗り入れの際に荷重が掛かった際に、突起物により、シートに穴が空く可能性が有る為、敷設前に必ず、切り株等の除去を行なって下さい。なお、穴が空いた場合の補修方法に付きましては、エコシートのはぎれを使用し、穴が空いた箇所を補修し、雑草が繁茂しない様に行なって下さい。

## 施工手順 2 エコシートの敷設方向について



### (施工補足説明)

①エコシート敷設地盤の傾斜(雨水の排水方向)を考えて、シート重ね合わせ箇所が雨受けにならない様に敷設して下さい。

※→ シート重ね合わせ箇所が雨受けの場合、雨水により、重ね合わせ箇所に土砂が堆積し、雑草が繁茂し易くなるため、重ね合わせ箇所が雨受けにならない様に敷設方向を決めて下さい。

施工手順 3 敷設敷地内に構造物がある場合の養生について

(施工補足説明)

- ①エコシート敷設敷地内に構造物(鉄塔基礎・保護柵基礎ブロック)がある場合は、構造物周辺を図-1、図-2の通り、コンクリートにて、養生を確実に行って下さい。(構造物周辺の養生寸法につきましては、標準最低寸法を記載しております。)
- ②エコシート敷設時、エコシート裏面及び養生コンクリート表面に、専用プライマーを塗布して、シートを接着させて下さい。尚、シート接着後、アンカーBTまたは、土中用アンカーピンにて、再度、シートを固定します。
- ③構造物周辺に養生用コンクリートを打設する場合は、既設コンクリート表面との付着方向上を行なう必要がある為、コンクリート表面は、コテ仕上げにして下さい。

図-1 鉄塔基礎付近養生方法

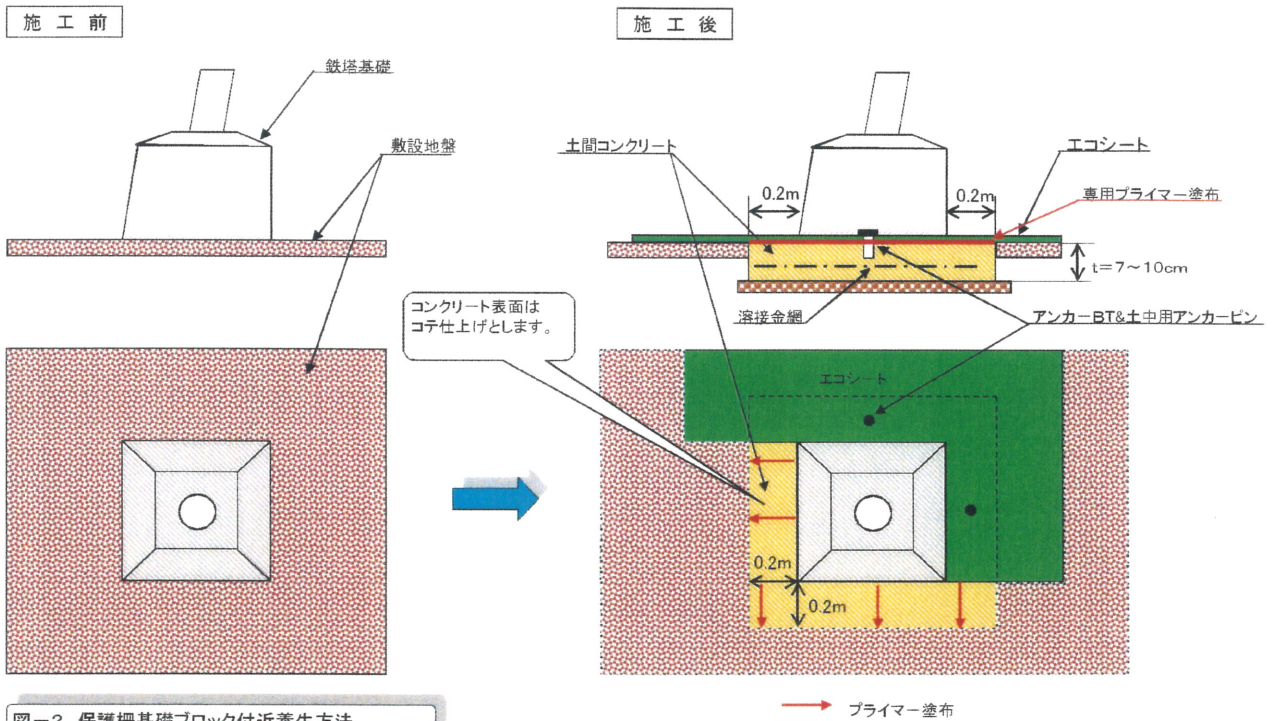
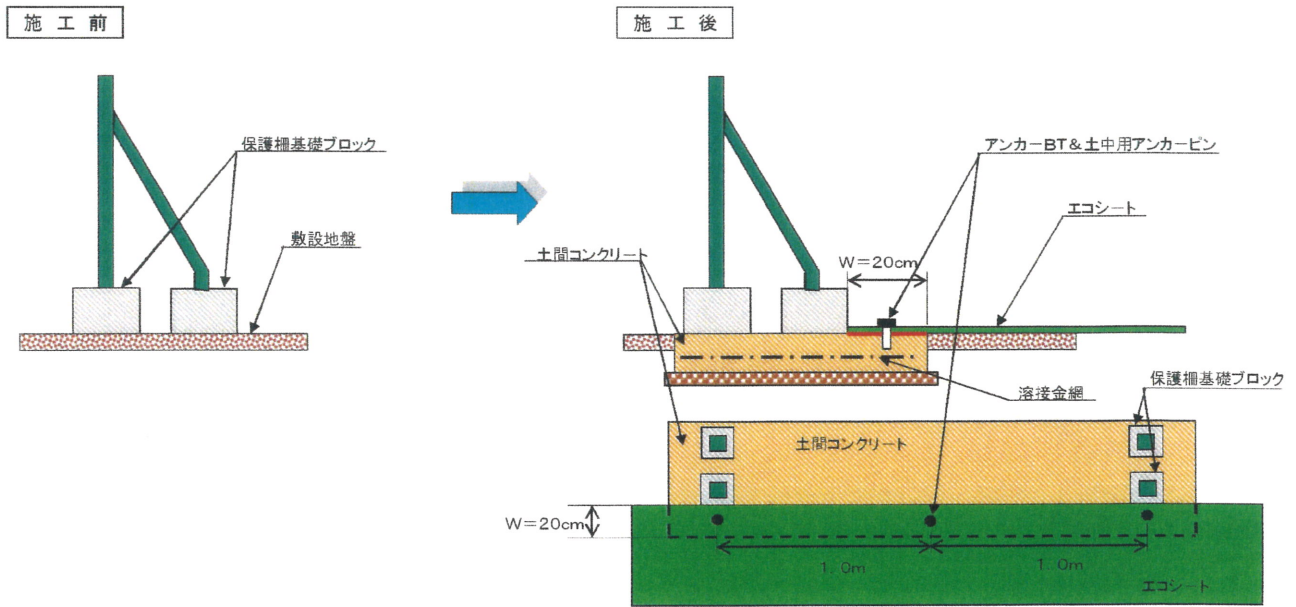


図-2 保護柵基礎ブロック付近養生方法





作業手順 4 エコシート敷設方法について

エコシート敷設手順

(1)エコシート敷設敷地内の敷地整備完了



(2)エコシート敷設方向の決定



(3)エコシート敷設敷地内構造物周辺の養生完了



(4)エコシート敷設作業開始

(施工補足説明)

①図-1の通り、エコシートの中心ライン及びシートラップ幅20cmを糸チョークにて、明示して下さい。(上下シート両方に明示)

②敷設方向に合わせて、端部から敷地にシートを敷設し、シートがズレ無い様に、シートのセンターのみを土中用アンカーピンを施工面に対して、垂直に打ち込んで、シートを固定させます。尚、シートに関しては、全て敷設して下さい。(図-2の通り)

③敷地内のシート敷設完了後、シート重ね合わせ箇所の接着作業に着手して下さい。尚、専用プライマー塗布前に、重ね合わせ箇所から、1cm程度離して、養生テープ(布製ガムテープ)を図-3、図-3-1の通りに養生テープをエコシート貼り付けて下さい。

④専用プライマーに付きましては、金属ヘラ等を使用し、薄くプライマーを塗り延ばして下さい。尚、専用プライマーに付きましては、上部シートに付いては先端まで、下部シートに付きましては、養生テープの際まで、塗り延ばして下さい。

⑤重ね合わせ箇所のプライマー塗布完了後、シートを接着し、シート上面を軽く踏んで、接着力を高めて下さい。

⑥重ね合わせ箇所の接着が完了しましたら、ラップ幅の中心線に、土中用アンカーピンを垂直に打ち込んで、シートを固定させます。

図-1 エコシートマーキング寸法

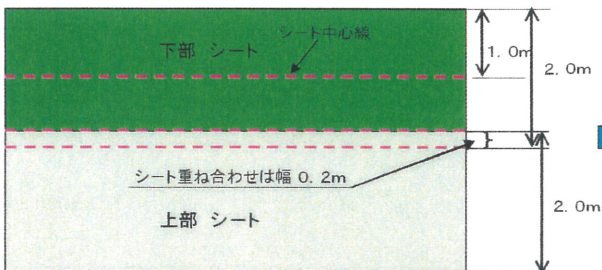


図-2 エコシートセンター杭打ち込み間隔

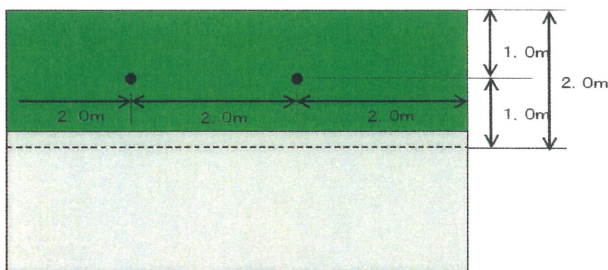


図-4 シート重ね合わせ箇所杭打ち込み間隔

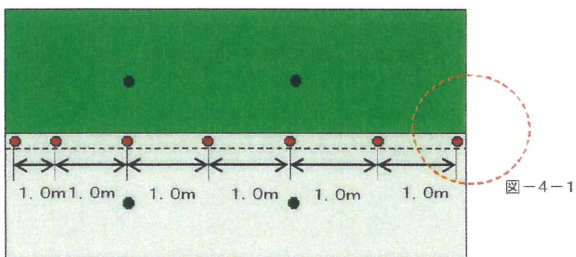


図-3 専用プライマー塗布前の養生方法

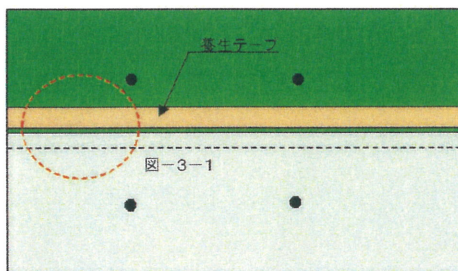


図-4-1 重ね合わせ箇所土中用アンカーピン打ち込み説明図

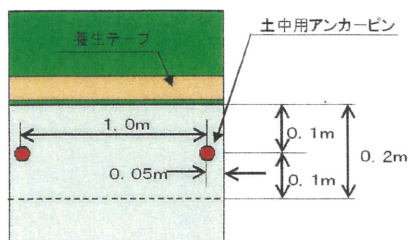
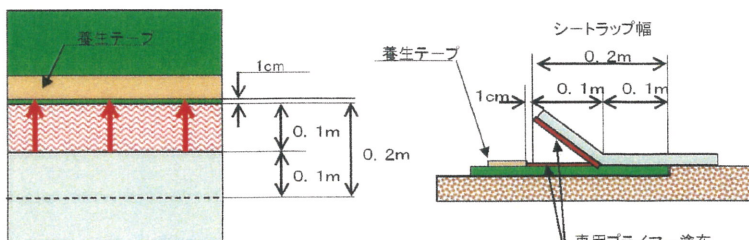


図-3-1 シート重ね合わせ箇所説明図

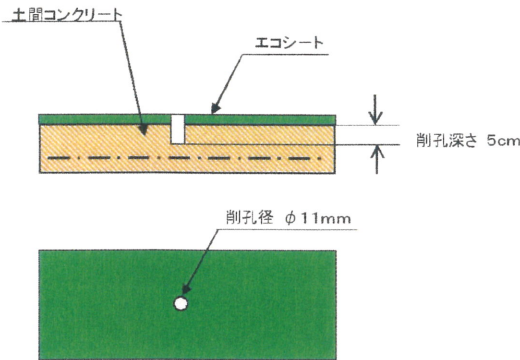


専用プライマー塗布方向



アンカーBT打ち込み補足説明図

図-1 アンカーBT取り付け図



(施工補足説明)

- ①土間コンクリートにアンカーBTを取り付ける場合は、エコシート接着後コンクリートドリル(φ11mm径)で、深さ5cm程削孔して下さい。
- ②コンクリートを削孔した場合、コンクリート削り粉が出ますので、掃除器で、削り粉を吸い取って下さい。
- ③アンカーBT取り付けに付きましては、図-2の様にネジ山に付きましては、ナットにてネジ部まで、ナットを上げて下さい。ピンに付きましては、ハンマーにて、確実に打ち込んで下さい。
- ④ピン打ち込み完了後、ナットが緩んでいる場合は、軽く締めて下さい。

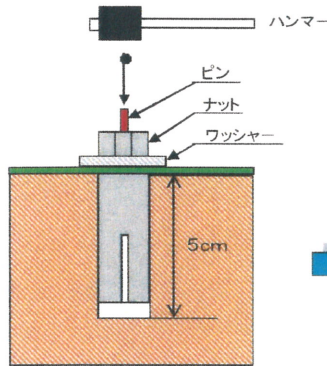


図-2 正しいアンカーBT取り付け図

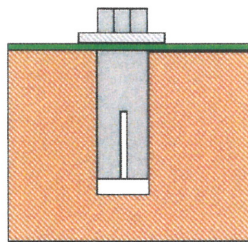
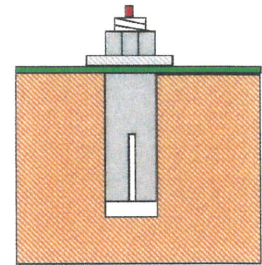


図-3 悪いアンカーBT取り付け図



土中用アンカーピン打ち込み補足説明図

(施工補足説明)

- ①土中用アンカーピンに付きましては、エコシート面に対して、垂直に打ち込んで下さい。尚、土中用アンカーピンに付きましては、手でしっかり握り、打ち込み位置がズレ無い様に、ハンマーにて打ち込んで下さい。
- ②土中用アンカーピンのゴムワッシャーが反らない程度で、ピンを打ち込んで下さい。
- ③土中用アンカーピン打ち込みの際、土中の石等で打ち込みが出来なく、打ち込み位置を変更する場合、穴を開けた箇所には必ず、エコシートのはぎれにて、穴を防

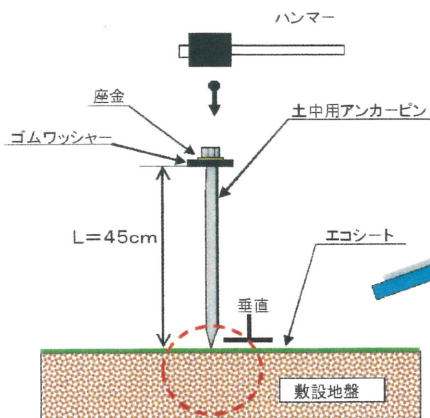
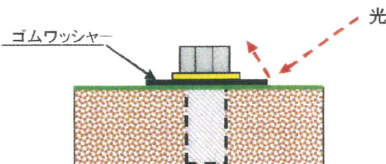
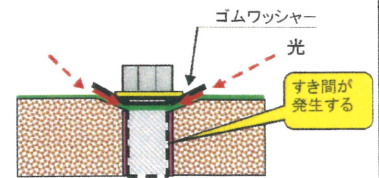


図-1 正しいピンの打ち込み図



■ゴムワッシャーがエコシート面と平行の場合、光を遮断するため、土中用アンカーピン打ち込み箇所からの雑草繁茂を防ぎます。アンカーピンの打ち込みに関しては、垂直に打ち込んで下さい。

図-2 悪いピンの打ち込み図



■土中用アンカーピンを打ち込み過ぎてゴムワッシャーを変形させた場合、アンカーピン打ち込み面に光が透過するためアンカーピン打ち込み面から雑草が繁茂しますので、アンカーピンを打ち込み過ぎて、ゴムワッシャーを変形させない様に注意して下さい。

コンクリート板を用いた防草シート敷設  
施工例写真



防草シート敷設

施工前 ①



防草シート敷設

施工前 ②



防草シート敷設

施工前 ③







---

防草シート敷設

施工前 ④

---

---

---

---

---

---

---

---



---

防草シート敷設

施工前 ⑤

---

---

---

---

---

---

---

---



---

防草シート敷設

施工中

---

---

---

---

---

---

---

---

除草後、シートラップ部分を  
固定するため、コンクリート板を  
埋設する。

---

---

---

---

---

---

---

---



防草シート敷設

施工中

コンクリート板埋設



防草シート敷設

施工中

コンクリート板埋設



防草シート敷設

施工中

コンクリート板埋設







---

防草シート敷設

施工中

---

シート敷設

---



---

防草シート敷設

施工中

---

シート敷設

---



---

防草シート敷設

施工中

---

コンクリート板およびシートラップ  
部分を専用ボンドで接着する。

---



防草シート敷設

施工中

コンクリート板およびシートラップ  
部分を専用ボンドで接着する。



防草シート敷設

施工中

ボンド接着後、コンクリート板と  
シートをアンカーにて固定する。



防草シート敷設

施工中

ボンド接着後、コンクリート板と  
シートをアンカーにて固定する。







---

防草シート敷設

施工中

---

シート端部はフラットバー  
(端末押え金具)を用いて  
固定する。

---



---

防草シート敷設

施工中

---

シート端部はフラットバー  
(端末押え金具)を用いて  
固定する。

---



---

防草シート敷設

施工後 ①

---

---

---

---

---



防草シート敷設

施工後 ②



防草シート敷設

施工後 ③



防草シート敷設

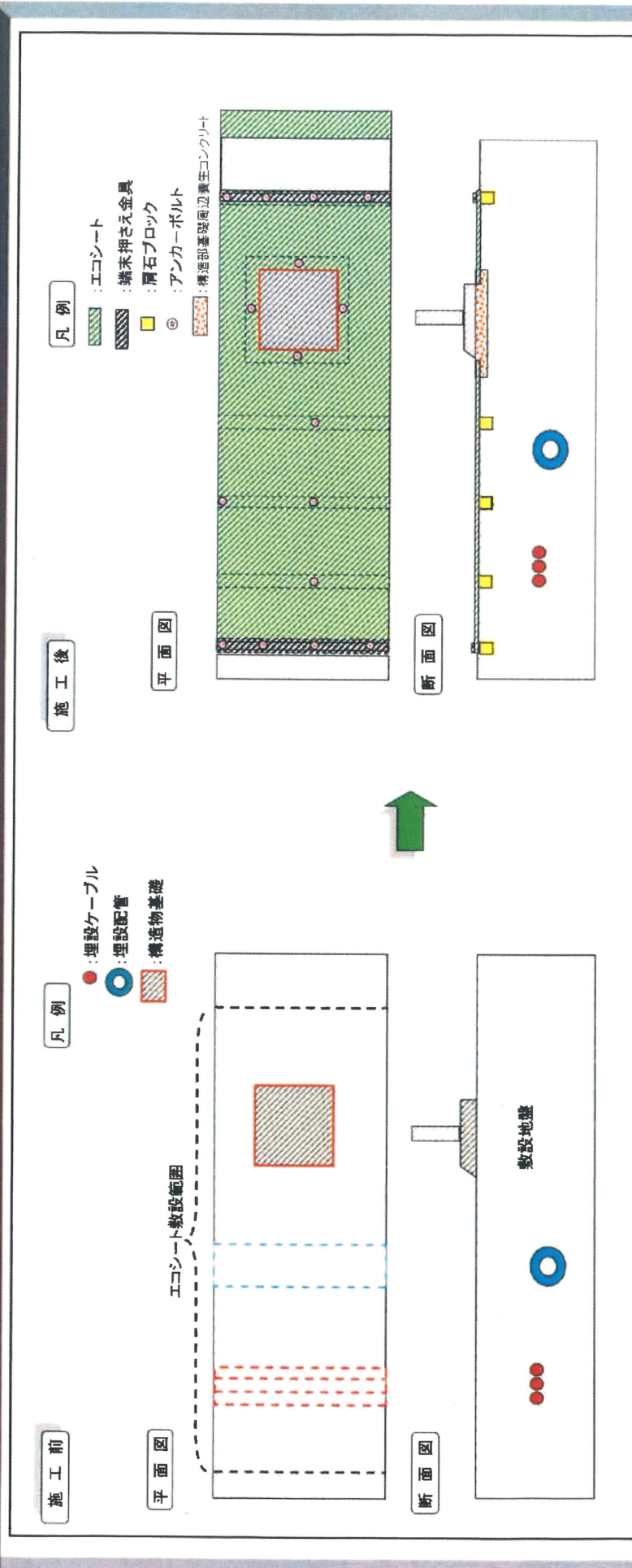
施工後 ④







# 地下埋設物設置箇所におけるエコシート敷設施工手順説明図

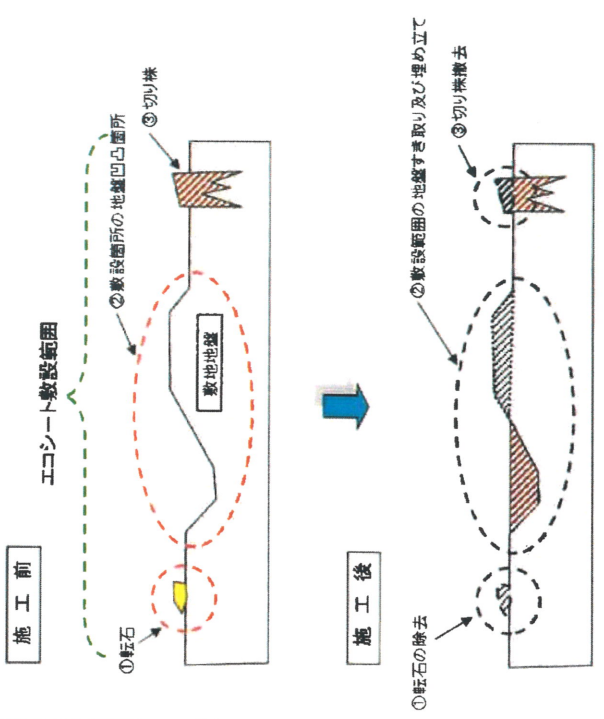


## エコシート敷設作業手順

- ①エコシート敷設範囲の除草及び転石等の除去作業の実施
- ②エコシート敷設箇所の地盤凹凸箇所の埋め立て整地の実施
- ③エコシート敷設範囲内の構造物基礎周辺の土間コンクリートの打設作業の実施
- ④エコシート敷設幅に合わせて端部・中心部・重ね合わせ箇所に肩石ブロック埋設作業の実施
- ⑤エコシート敷設作業の実施



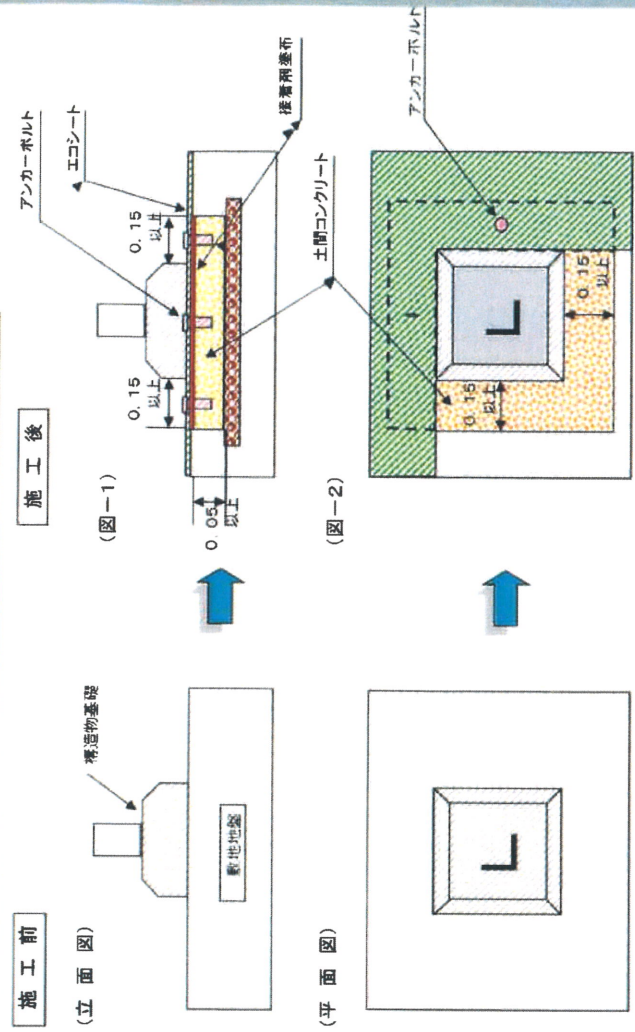
施工手順 1・2 (敷設範囲の除草・転石等除去概要説明図)



(施工補足説明)

- ①エコシート敷設範囲内の雑草・雑木・切り株等がある場合は、敷設前に除草・除去作業を実施して下さい。
- ②エコシート敷設範囲内に点在している、大きな石等有れば、必ず撤去して下さい。
- ③エコシート敷設地盤に付いては、凹凸が無い様に、凹凸が無い様に、地盤整地作業を実施して下さい。

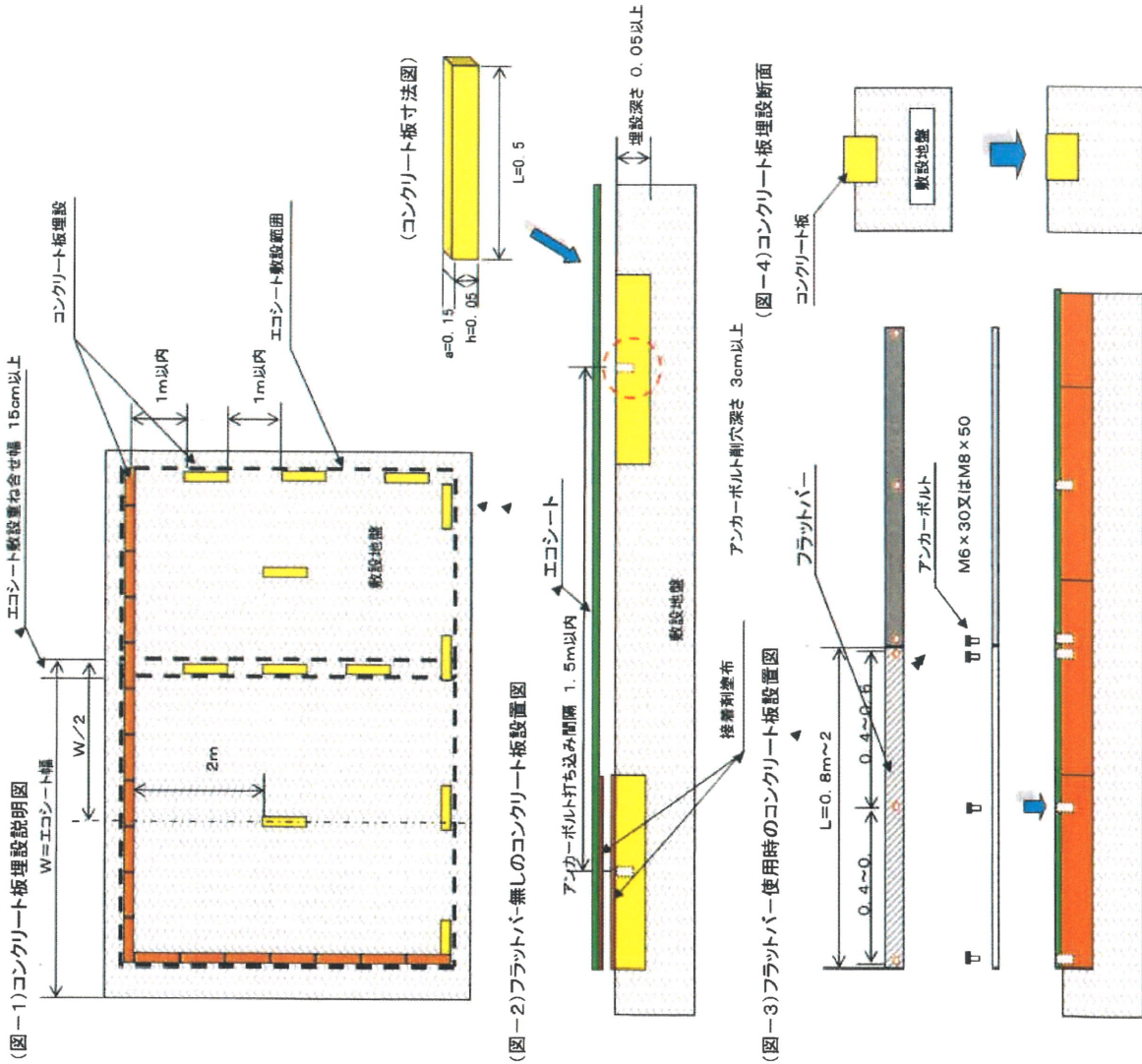
施工手順 3 (敷設範囲内の構造物基礎周辺養生概要説明図)



(施工補足説明)

- ①エコシート敷設敷地範囲内に構造物基礎がある場合は、基礎周辺を(図-1)(図-2)の様、土間コンクリートの施工を実施します。
- ②打設コンクリートの表面に付いては、エコシートを敷設する際、専用の接着剤を塗布するため、打設コンクリートの表面については、コテ仕上げを行なって下さい。
- ③エコシートを土間コンクリートに敷設する場合は、土間コンクリート表面にゴムヘラを使用し、均一に接着剤を塗ると共に、エコシートに関しても、接着面に接着剤を均一に塗って下さい。
- ④土間コンクリートにエコシートを接着後、アンカーボルトにて、シートを固定して下さい。

施工手順 (コンクリート板埋設置施工概要説明図)



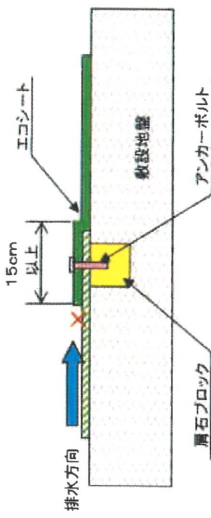
(施工補足説明)

- ①エコシート敷設箇所の端部・シート中心部・シート重ね合せ部に付きましては (図-1)の様に、コンクリート板を埋設置するものとします。  
 ※フラットバーにて、エコシートを固定しない場合 (図-2)の通り、アンカーボルト打ち込み間隔1.5mの位置にコンクリート板を埋設置するものとする。  
 ※シート中心部に付きましては、2.25m以内の間隔にアンカーボルトを打ち込むためにコンクリート板を埋設置するものとする。
- ※フラットバーにて、エコシートを固定する場合 (図-3)の通り、コンクリート板を詰めて、埋設置を行なうものとする。  
 ※フラットバーの詳細構造図に付きましては、別添資料による。
- ※アンカーボルト打ち込み位置に付きましては、コンクリートの中心に来る様に、埋設置するものとする。
- ②コンクリート板埋設置を行なう前に、既設埋設物の深さ・位置等を確認し、掘削して下さい。
- ③コンクリート板の仕様については、高さ5cm×幅15cm×長さ50cmとします。  
 ※詳細構造図に付きましては、別添資料による。
- ④コンクリート板埋設時、(図-4)の通り、エコシート敷設地盤と凹凸が生じ無い様にコンクリートの埋設置を行なって下さい。
- ⑤エコシートとコンクリート板設置面に関しては、エコシート専用接着剤を塗布し、シートの接着固定を行なって下さい。
- ⑥アンカーボルト打ち込みに関しましては、エコシート接着後、コンクリートドリル径6.5mm~8.5mmにて、深さ3cm以上削穴するものとする。  
 ※アンカーボルトの詳細構造図に付きましては、別添資料による。  
 ※アンカーボルトのセンターピンは確実に打ち込んで下さい。
- ⑦アンカーボルト削穴時、コンクリート粉に付きましては、掃除機等で吸い取って下さい。

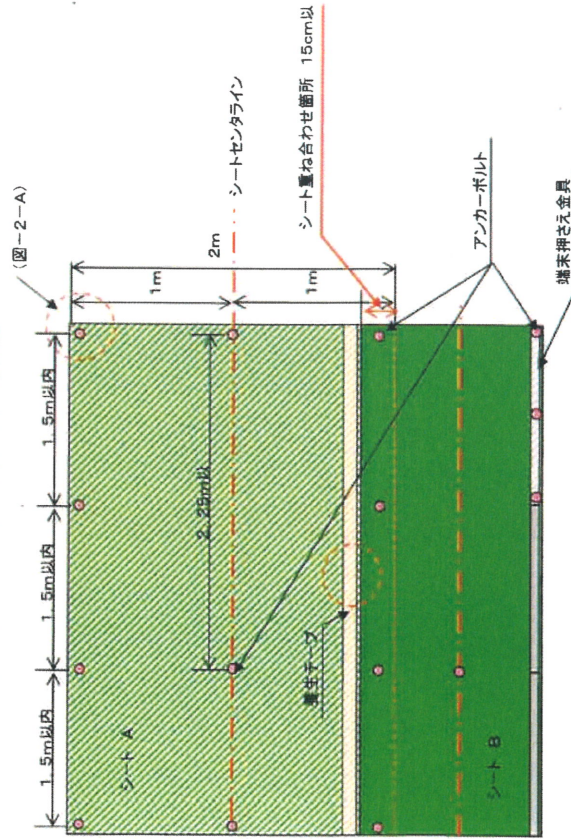


施工手順 5 (エコシート敷設施工概要説明図)

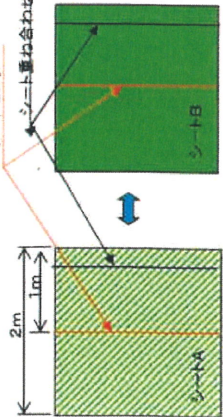
(図-1)エコシート重ね合わせ部説明図



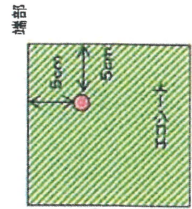
(図-2)エコシート敷設及びアンカーボルト取り付け間隔説明図



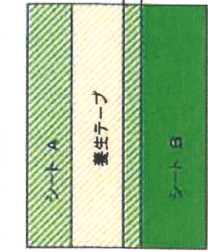
(図-2-A)シートのマーキング



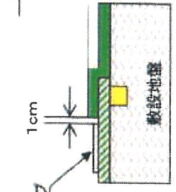
(図-2-B)アンカーボルト打ち込み位置



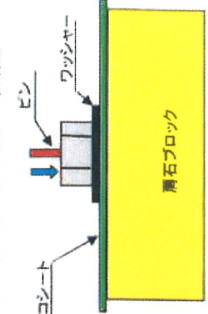
(図-2-C)養生テープ貼り付け位置



(断面図)



(図-2-D)アンカーボルト取り付け説明図



(施工補足説明)

- ①エコシートの重ね合わせ面が、(図-1)の通りに雨受けにならない様に敷設方向を決めて下さい。
- ②エコシート敷設前に、(図-2-A)の通りに、エコシート中心ライン及び重ね合わせ幅20cmを糸チョークにて、マーキングして下さい。
- ③エコシート端部・重ね合わせ箇所・エコシート中心部に付いては、エコシート専用の接着剤にて、接着させて下さい。
- ④アンカーボルト打ち込み位置につきましては、(図-2-B)の通り、端部より、5cmフラットバー
- ⑤アンカーボルト取り付け間隔につきましては、(図-2)の通り、端部・エコシート重ね合わせ箇所については、1.5m以内の間隔とし、エコシート中心部は、2.25m以内の間隔にて、アンカーボルトを取り付けて下さい。
- ⑥エコシート重ね合わせ箇所につきましては、(図-2-C)の通り、重ね合わせ面から1cm離れた位置に、養生テープ(布製ガムテープ)をシートに貼り付けて下さい。尚、接着剤に付きましたは、養生テープまで、塗布し、接着剤が乾いた後、養生テープを剥がして下さい。
- ⑦接着剤塗布箇所に付きましたは、接着後、踏んで接着力の向上を図って下さい。
- ⑧アンカーボルトに付きましたは、シート上面から、肩石ブロックまで削穴して下さい。削穴深さは5cmとします。
- ⑨アンカーボルトに付きましたは、(図-2-D)の通り、ワッシャーを入れ、アンカーボルトを挿入し、ピンを確実に打ち込み、ボルトを固定して下さい。